SYNTHESIZER

ガイドブック

シンセサイザー講座

日本音楽アカデミー

あなたを「シンセサイザー講座」に お迎えして

日本音楽アカデミー
会長　吉森洋二

「シンセサイザー講座」へのご入会おめでとうございます。今日からあなたは日本音楽アカデミー「シンセサイザー講座」の会員です。修了までの12か月間、ご自分のペースをくずさず、学習の成果が確実にあがるよう、工夫しながら勉強をお続けになってください。

音楽というものは、申し上げるまでもなく私たちの日常生活の中でもっとも身近な楽しみのひとつにあげることができるものです。聴く、歌う、作詞・作曲する、そして自分自身の手でプレイ（演奏）するなど、楽しみ方のバリエーションも実に豊富です。

この「シンセサイザー講座」は〝シンセ〟を通して「音」への理解をより深め、ひいてはプレイする醍醐味を満喫していただこうという意図のもとに開講されました。もちろん、明日のＹＭＯや喜多郎といったトップアーティストをめざすというはっきりとした目的意識をおもちの方には、本講座がそのチャンスメーカーとしての役割を果たせるよう、カリキュラムにもさまざまな工夫を盛り込み、ホットな最新情報もどしどし提供していきたいと考えております。

幸いにも本講座では、古山俊一先生をはじめとして、現在、我が国のシンセサイザー業界のトップメーカーであるローランド社のアドバイザリースタッフの方々を講師としてお迎えし、強力な指導体制を敷くことができました。これらの先生方のキメ細かい講評、そしてマンツーマン形式の添削指導は、必ずやあなたの実力アップにつながる大きな道しるべとなるにちがいありません。

ですからあなたも、本講座に入会された時の初心を最後まで忘れず、テキストを上手に活用して、実り多い12か月間にしていただけるよう講師共々、期待しております。

目次

あなたをシンセサイザー講座へお迎えして……1

学習をはじめる前に

教材をよくお確かめください……4
テキストの構成……5
ガイドブック・その他……6

上手な講座の進めかた

必須課題・テスト問題解答の提出……8
自由課題の提出……10
修了証の取得とその手続きについて……10
質問指導の受け方……11

学費の納入について

納入期限を必ずお守りください……12
特約条項……13

正しい通信のしかた

会員番号と会員証明書……14
問い合わせ、課題提出などの宛先について……15
住所やお名前が変わった時は……16
質問百科……17

※巻末には、各種届出用紙・質問用紙がついていますのでご利用ください。

60.6.1

学習をはじめる前に

教材をよくお確かめください

今日からいよいよ本格的な学習にはいるわけですが、その前にお届けした教材をひとつひとつお確かめください。

お届けした「シンセサイザー講座」の教材は、大きくわけて——

①ガイドブック
②シンセサイザー
③プリントテキスト
④テープテキスト
⑤付属教材とその他

から構成されています。下記の〈教材一覧表〉と照らし合わせながら教材が全部そろっているかどうか必ずお確かめになってください。

万一、教材製作中のミスによる落丁・乱丁、梱包時における教材の不足、送付途中での破損・汚損など、教材が不完全な形であなたのお手もとに届いた場合は、すぐに当アカデミー通信教育部までご連絡ください。ご連絡をいただきしだい、新しい教材とお取り替え、または、不足分の教材を至急お送りいたします。

〈シンセサイザー講座教材一覧表〉

●ガイドブック

●シンセサイザー（1台）
- ・機種＝**ROLAND SH-101**

●プリントテキスト（全4冊）
- ①PART1（基礎編）
- ②PART2（応用編）
- ③PART3（実践編）
- ④PART4（理論編）

●テープテキスト（全3巻）
- ①PART$\boxed{1}$（基礎編）
- ②PART$\boxed{2}$（応用編）
- ③PART$\boxed{3}$（実践編）

●付属教材
- ・テスト問題集
- ・課題提出用カセットテープ（C－15・3巻）
- ・無料添削券2枚（テスト問題集17ページ）

●その他
- ・会員証・学費納入書（一括・分割払用）
- ・質問用紙（ガイドブック巻末に綴じ込み）
- ・シール台紙（テスト問題集最終ページ）
- ・有料添削券購入申込書1枚
- ・現金封筒2枚（初回学費納入・有料添削券購入用）

テキストの構成

通信教育を受けるあなたにとって一番大切なものはテキストです。この「シンセサイザー講座」は、プリントテキストとテープテキストの2つの主要教材によって構成されています。

シンセをいじることが何よりも好きだ。という強い気持ちがあれば、それは立派なシンセシストになる第一歩であるといえます。その気持ちを大切に、シンセの基本的な操作を覚え、さまざまな音の作り方からマルチレコーディングの実践まで、シンセサイザーの知識とテクニックを確実にマスターして、あなたの豊かな感性でシンセサウンドを大いに楽しんでください。

そこで本講座では、プリントテキストとテープテキストを効果的に組み合わせ、目と耳で実際の音を確かめながらやさしく理解していただけるようにカリキュラムを設けました。

(1)プリントテキスト

プリントテキストは、パート1（基礎編）、パート2（応用編）、パート3（実践編）、パート4（理論編）の4冊から成り立っています。いずれのテキストも、わかりやすく理解でき、学習効果が確実にあがるように細心の注意を払って編集されていますので、楽しみながら、無理のないペースで勉強に取り組むことができます。

□パート1（基礎編）　シンセサイザーに慣れていただくための、いわばウォームアップ的な役割を果たすのが、このパート1です。テープテキストを併用し、まず始めに、セッティングチャートにしたがってシンセの音を出すまでの手順を覚えてください。つぎに音作りの基本練習として、風・雷・SL、フルート・バイオリン・ギター、猫・小鳥のさえずりなどの効果音や楽器音、動物の鳴き声の作り方を学びます。

□パート2（応用編）　パート1の応用です。ここでは、基本練習の巾をさらに広げて、人間の声、楽器音、UFOや流れ星などのイメージサウンドといった、シンセならではの音色の豊かさを存分に楽しみながら、さまざまなハイテクニックサウンドにチャレンジしてみましょう。

パート1、2を通じて50のサウンドについて学習しますが、たとえわずかでも毎日練習時間をとってください。シンセの深い魅力に触れていくうちに、音作りのノウハウも自然と身についていることがわかるでしょう。

□パート3（実践編）　本編では、SH―101とお手持ちのテープレコーダーを活用させて、いよいよマルチレコーディングの実践です。多重録音について理解し、シンセの周辺装置のいろいろを把握した上で、まずは、ロケットの発射音、自然界のサウンドストーリーを作ります。そして、シルクロード（喜多郎）、ライディーン（YMO）や、クラシック音楽、オーケストラ・サウンドと、重厚華麗な演奏を通して多重録音のハイテクニックを身につけてください。

□パート4（理論編）　これまでの学習で、思いのままに音を操るテクニックを身につけたあ

なたは、シンセサイザーに自信を深められたことでしょう。本編では、シンセの仕組み（メカニズム）や、音の科学、楽典の基礎知識について、理論を学びます。それぞれ初歩から専門的な事柄をわかりやすく解説してありますので、積極的に知識を吸収し、名実ともにシンセシストとなるための総仕上げをしてください。

(2)テープテキスト

テープテキストは、パート1（基礎編）・パート2（応用編）・パート3（実践編）の3巻のテープで成り立っています。いずれも、プリントテキストと連動した内容でテープ編集されていますので、シンセサウンドを実際に耳で確かめながら上手にレッスンを進めてください。

□PART・1（基礎編）

A／風の音～ホルン

B／チューバ～馬のひずめ

□PART・2（応用編）

A／ソプラノの声～パルサー

B／シンセサウンドⅠ～電話の呼び出し音

□PART・3（実践編）

A／多重録音とは何か～喜多郎サウンド④

B／喜多郎サウンド⑤～ピーターと狼完成曲

(3)付属教材

□テスト問題集　本講座の学習で、シンセの知識と操作技術をどの程度理解されているかを、判定・指導します。各プリントテキストから出題してありますので、あなたの学習の進度に合わせて受講期間中に必ず提出してください。

提出された解答は、担当の先生が添削・採点したのちご返送いたします。その際、テストに合格の場合は、解答用紙右上の「検印シール」に検印を押してお返ししますが、万一、検印が押されてないものは不合格です。解答部分を直して再提出しなければなりません。

検印済みとなったシールは、本講座の修了証取得の申請手続きに必要となりますから、テスト問題集最終ページの「シール台紙」に貼って大切に保管しておいてください。

□課題提出用カセットテープ　シンセの操作技術の学習成果を録音して提出していただき、それを担当の先生が添削・指導します。お届けしたテープは、必須提出課題用2巻、自由提出課題用1巻です。**（このテープの詳細は8ページをご覧ください。）**

□無料添削券　必須提出課題を録音したテープに同封していただくのがこの無料添削券です。**（この無料添削券の詳細は9ページをご覧ください。）**

ガイドブック・その他

本講座のガイドブックおよび、これから紹介する各書類は、シンセの勉強に直接関係してくるものではありません。しかし、これらを正しく利用し、上手に活用することが、結局は学習の効果をあげ、知らず知らずのうちにあなたの実力を高めることにつながります。

(1)ガイドブック

ガイドブックには、講座の正しい進め方や課題作品の提出のしかた、学費の支払い方法、質問のしかたなどがくわしく述べられています。

通信教育は、郵便のやりとりによって教育効果をあげるものですから、日本音楽アカデミーと会員であるあなたとの連絡がスムーズにはこばれることが必要な条件となってきます。12か月の受講期間中にあなたの学習を計画的に進め充実した指導効果をあげるためにも、きっちりとした連絡がたいせつです。

何かわからない点があった場合は、すぐにガイドブックを見て正しい方法でご連絡ください。ご連絡があれば当会からもすぐにお答えをお届けいたします。あなたと当会との一体となったやりとりがあってこそ、すばらしい学習効果が生まれてくるのです。

(2)その他

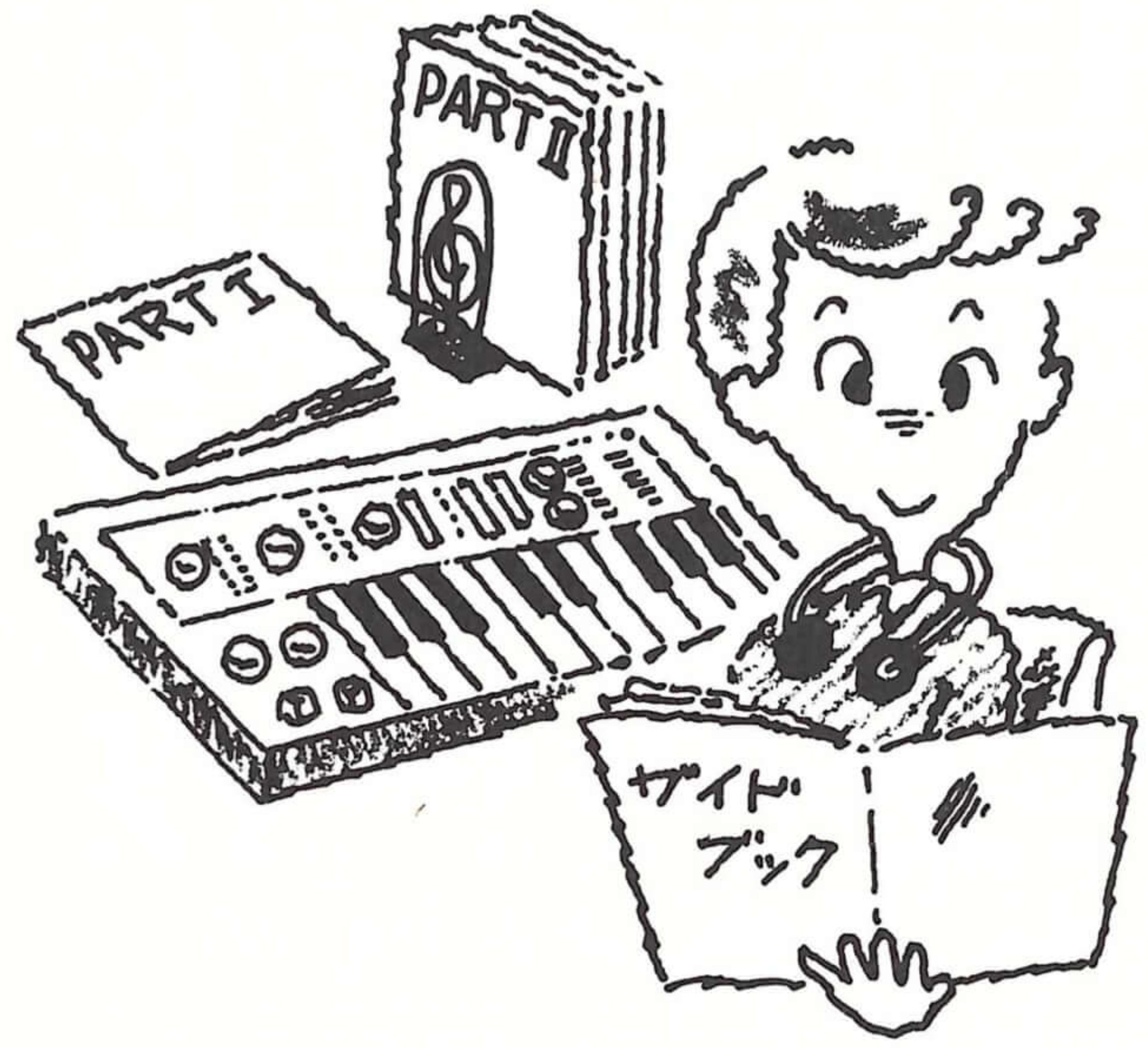
▼会員証　あなたが、日本音楽アカデミー「シンセサイザー講座」の会員であることを証明するものです。当会へのご質問やお問い合わせの際に必要な、あなたの会員番号も裏面に記入されていますので講座修了の日まで大切に保管してください。

▼シール台紙　12か月の受講期間が修了して、学費を完納し、規定の必須課題・テスト解答の提出がすべて完了した方には、本講座の修了証（免状）を申請する資格が与えられます。シール台紙は、必須課題・テスト解答の提出がすべて完了し、担当の先生によって検印されたシールを貼る用紙です。修了証申請書と一緒に提出していただきます。

▼有料添削券購入申込書　本講座では、必須提出課題2題を無料で添削指導いたします。必ず本講座指定の〝カセットテープ〃をご利用になって提出してください。

規定の必須課題（無料添削）が終了し、さらにあなたの自由課題の添削指導をご希望される場合は、添削料は有料となります。まず、**有料添削券購入申込書**で有料添削券をお求めになってから送ってください。尚、自由課題の添削指導は受講期間修了後も引きつづき受付けておりますので前記の要領で有料添削券を購入の上、どしどし本講座までお寄せください。

※｛現金封筒は2枚お送りしてあります。1枚は学費納入用（全額一括・分割一回目）として、もう1枚は有料添削券購入用としてご利用下さい。｝



上手な講座の進め方

通信教育は、すべて自宅での勉強によって知識や技術を修得するのがたてまえです。そのためには、自分で学習の計画を立て、疲れていることがあっても、たとえ時間は短くても、毎日必ず勉強の時間をとることが計画どおり学習を進める上でいちばん大切なことです。お送りしたテキストを先生として、ご自分で無理のない日程を組みながら勉強を進めていってください。

シンセサイザー講座では、12か月の受講期間中に必須課題とテスト解答の提出をしていただくことになっています。これは、あなたの勉強の進みぐあいやテキストの理解度、シンセの操作技術の向上度などを担当の先生が把握し、正しく指導するものです。必須課題・テスト解答の提出がきちんと守られないと、講座修了の際に修了証の申請をすることができませんので、くれぐれもご注意ください。

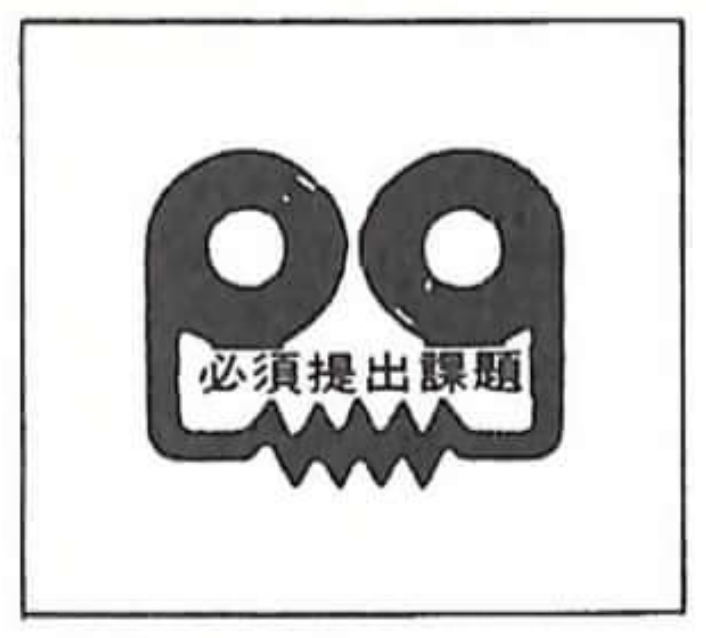
必須課題・テスト問題解答の提出

あなたがテキストを最後までしっかりと読み、何度もくり返して勉強すれば、かなりの知識と技術が身につくでしょう。しかし、それだけでは書店でシンセの入門書を買ったのと同じです。

本講座では、あなたの勉強が実際にどの程度進んでいるかを判定し、学習の効果をさらに高めるために、必須提出課題とテスト問題を出題し、受講期間中に提出していただきます。提出されたあなたの必須提出課題とテスト解答は、担当の先生によってひとつひとつ添削指導・採点され、適切なアドバイスが与えられます。それによってあなたの学習の長所がのばされ、ウィークポイントも正しく診断されるわけです。

①必須課題の提出

「基礎編」「応用編」から各1題ずつ合計13の課題音の出題です。テキストのチャートとテープの音を参考にして音を作り提出してください。



プリントテキストの各学習項目（タイトル）の左上に、上のような必須提出課題マークのついた音名が必須課題です。出題の内容は左記のとおりです。

▼必須提出課題1（パート1・基礎編）

1風の音（8p.）　2SL（15p.）
3トランペット（20p.）4バイオリン（24p.）
5ベースギター（28p.）6猫の鳴き声（41p.）
7小鳥のさえずり（42p.）

▼必須提出課題2（パート2・応用編）

1ソプラノの声（4p.）2オルガンⅠ（13p.）
3シンセドラム（19p.）4シンセサウンドⅠ（22p.）
5UFOサウンド（31p.）6ゆうれいサウンド（36p.）

〈提出のしかた〉　必須提出課題1の提出は、教材と一緒にお届けしたカセットテープ〝必須提出課題1〟を、必須提出課題2の提出は、同じく〝必須提出課題2〟を必ず使用し、どちらも課題音は、テープのA面のみに録音してください。B面は担当の先生が添削・指導の声と音を吹き込んであなたに返送するために使います。

　この必須課題の提出は、あなたの学習の進行に合わせて、基礎編、応用編の勉強がそれぞれ修了した時点で、1、2と順番に提出するようにし、必須課題2の提出は、必須課題1の合格を確認してから提出するようにしてください。また、必須課題の提出時には無料添削券を1枚ずつ同封していただきます。

▼無料添削券　テスト問題集17ページに、無料添削券1と2が印刷してありますので、これを1枚ずつ切り取り、必須課題を録音したテープと一緒に当アカデミー指導部宛に郵送してください。無料添削券には、あなたの会員番号と住所・氏名、提出日を所定の欄に正確に記入し、課題テープ返送用の切手も忘れずに貼付してください。

　必須課題を提出する際に使う封筒は市販のものであればなんでもけっこうですが、封筒の表には、必ず**必須提出課題在中**と明記してください。**（課題の提出先は15ページをご覧下さい。）**

〔必須課題テープ提出の際の注意事項〕

※指定のカセットテープのA面に課題を録音すること。
※はっきりと聞き取りやすい音量で録音する。
※課題（テープ）は1題ずつ提出する。
※無料添削券を忘れずに同封すること。
※会員番号、住所・氏名、提出日などの記入もれがなく、楷書ではっきり書くこと。
※添削券には返送用の切手を必ず貼ること。
※封筒の表には必ず〝必須提出課題在中〟と明記し、指導部宛に提出すること。

　以上の〈注意事項〉が守られていなければ別処理として扱われ、添削指導されずに返送される場合があります。くれぐれもご注意ください。

　この必須提出課題は、あなたにシンセの操作技術の基礎をしっかり身につけていただくために、担当の先生が慎重に添削指導するものですから、テキストを繰り返し学習し、シンセの操作練習を十分に行なったうえで、聞きとりやすいはっきりとした音量で録音してください。

　必須提出課題が合格点に達した方は、無料添削券の〝検印シール〟欄に担当の先生の検印が押されて返送されますが、検印のないものは不合格です。先生の指示に従い、音を作り直して再提出してください。

②テスト問題解答の提出

　テスト問題は、第1回（基礎編）から第4回（理論編）まで、4冊のテキストからそれぞれ出題されています。このテスト問題の解答も、受講期間中に必ず提出していただきます。

〈提出のしかた〉　問題と解答用紙は別々になっています。解答用紙にまず、あなたの会員番号、住所・氏名等を明記してから、問題の答えを記入してください。問題集から解答用紙だけを切り離し、当アカデミー指導部に提出します。

　このテスト問題解答の提出も、あなたの学習の進行に合わせて、テキストの勉強がそれぞれ修了した時点で、第1回テスト問題解答から順番に提出なさってください。また、テスト解答が合格点に達した方は、解答用紙の右上にある〝検印シール〟欄に担当の先生が検印を押して返送されます。検印のないものは合格点に達していませんので、解答部分を直して再提出しなければなりません。解答用紙の提出は1回ずつ、検印を確かめながらあなたの学習計画に沿って提出するように心がけてください。

　解答用紙には、返送用の切手を忘れずに貼付し、市販の封筒に入れて郵送してください。また、封筒の表には**テスト解答在中**と必ず明記してください。**（提出先は15ページをご覧下さい。）**

自由課題の提出（有料添削指導）

　本講座の添削指導は、必須提出課題1・2は無料です。必須提出課題の添削が終わり、さらにあなたがご自分で自由に作った音や演奏の添削指導を希望する場合、添削料は有料となります。〝有料添削券〟をお求めになってから自由課題作品をお寄せください。

〈有料添削券の購入方法〉　自由課題の添削指導を受けるためには1回（テープ1巻）につき1枚の有料添削券が必要となります。添削指導を希望する場合は、まず、教材と一緒にお送りした〝有料添削券購入申込書〟に有料添削券の申込枚数、あなたの会員番号、住所・氏名などの必要事項を記入の上、代金と一緒に指定の現金封筒でお申し込みください。購入申込書が到着しだい〝有料添削券〟をお送りいたします。添削券の申込枚数の制限はありませんが、添削券到着後の照合用の控えとしてあらかじめ申込み枚数をメモ書きなどにしておいてください。

〈提出のしかた〉　あなたの自信作（音・演奏など）をカセットテープ**「自由提出課題」用のA面**に吹き込み、**「有料添削券」**1枚を必ず同封し郵送してください。添削券にはあなたの会員番号、住所・氏名、作品名を明記し、返送用の切手も忘れずに貼付してください。その他、自由課題テープの提出の要領は必須提出課題と同様ですが、あなたが録音した音や演奏などのチャートをテキストに習って書き、テープと一緒にぜひ送ってください。担当の先生が添削指導される際にわかりやすく、また、あなたへのよりていねいな指導ができます。

　なお、封筒の表には必ず〝**自由提出課題在中**〟と明記してください。

修了証の取得とその手続きについて

〈修了までの期間〉　シンセサイザー講座修了までの受講期間は12か月です。これは、本講座

の全教程を修得するために必要な学習時間を算定して決められた標準的な学習時間です。したがって、この期間内に修了できるようにスケジュールを立て、無理のないペースで学習を進めてください。

しかし、自宅での勉強ですから、どうしても思うように時間のとれない方、あるいは病気などの理由で所定の期間内では修了できない場合のために、受講期間を継続延長することができます。延長期間中も指導は受けられますし、余分な費用はいっさいかかりません。このガイドブック巻末に綴じ込みの「**受講期間延長届**」を提出してください。

〈修了証取得の資格〉 12か月の受講期間が修了し、テスト解答・必須課題の提出がすべてなされ、学費完納の方には、シンセサイザー講座「修了証」を申請する資格が与えられます。この修了証は、あなたが本講座の学習をとおして所定の知識と技能を習得したことを証明するものですが、同時に、受講期間中に培った学習習慣やあなたの音楽に対する姿勢をも高く評価するものです。最後まで根気よく受講を続け、必ず修了証を取得するようにしましょう。

〈修了証の申請方法〉 テスト問題集の最終ページに「**シール台紙**」があります。その検印シール貼付欄に課題提出済みの証明となる6枚（必須課題$\boxed{1}$・$\boxed{2}$、テスト解答$\boxed{1}$〜$\boxed{4}$）の検印済みシールを貼り、これを修了証申請書、修了証発行料と一緒に現金封筒で郵送してください。修了証申請書は受講期間中にお送りします。

あなたからの申請書類が到着後、当アカデミーで厳重な資格審査を行ない、修了証を発行いたします。申請後、修了証があなたのお手もとに届くまでの期間は約**1**か月ほどです。この点、あらかじめご了承ください。

質問指導の受け方

〈質問用紙〉 受講期間中の当アカデミーへのご質問やお問い合わせは、必ず巻末にある〝質問用紙〟をご利用になってください。

学費のお支払いや残額の照会、課題・テスト解答提出、添削指導など、受講規定や修了までのきまりに関する事務手続き上の問い合わせも、この質問用紙をご利用になってください。

質問用紙を使う場合、書き損じないように記入する前にまず質問点、問い合わせの内容などをよく頭の中でまとめ、要領よくはっきりとお書きください。できれば、別の用紙に下書きをしてから質問用紙に記入するようにしてください。質問用紙には、必ずあなたの会員番号と住所・氏名等をはっきりと記入し、返信用の切手を所定の位置に忘れずに貼付してください。

質問用紙を郵送する場合、封筒は市販のものであればなんでもけっこうですが、表には必ず**質問用紙在中**と明記してください。また、質問用紙を全部使ってしまった場合は、市販の便せんをご利用になってください。この場合も、あなたの会員番号、住所氏名を必ず書き添え、返信用切手も忘れずに貼付してください。

学費の納入について

納入期限を必ずお守りください

日本音楽アカデミー通信教育部では、あなたを信頼して、ここに「シンセサイザー講座」のすべての教材をお送りしました。

教材は、ご覧いただければおわかりいただけるように、私どもが自信をもってお届けするすぐれた内容のものです。が、万一お気に召さない時は教材が届いてから7日以内に必ずお返しください。ご返品の際の返送料は、恐縮ですがご負担ください。

また、教材がお気に召し、受講なさるのでしたら、今日からさっそくお勉強をお始めになって下さい。その場合は、学費の支払い方法にしたがって、定められた期間にきちんと学費を納入してください。分割納入の場合は、第一回目の学費を、教材到着後20日以内にお送りください。全額一括納入の場合も同じく20日以内にお送りください。学費に関しましては、案内書でご説明いたしましたように、たいへんおトクな割引価格となっております。また、一括でお支払いになりますとステキなプレゼントをさしあげます。

通信教育は、お互いの信頼によって成り立つものです。私どもがあなたを信頼して教材を一括して先にお渡ししたように、あなたも学費納入のお約束を守り、規定にしたがってご送金くださるようお願いいたします。都合によって修了が12か月以上かかるような場合でも、学費の納入期限は変わりませんので、この点おまちがえのないよう、あらかじめご承知おきください。

また、どうしてもやむを得ない事情でご送金が遅れるような場合は、会員番号、住所・氏名を明記のうえ、会計課までお申し出ください。学費延納が許可されることがあります。

■学費の納入方法

(1)ご送金の方法

①ご送金は、一括、分割（1回目）いずれの場合も教材に同封した現金封筒をご利用ください。送金方法に銀行振込は扱っておりません。必ず現金封筒でご送金ください。

②納入書をかならず同封してください。この納入書が同封されていませんと、手続き上の行きちがいのもとになります。

また、納入書には必ずご住所とお名前、会員番号など必要事項を所定の欄に記入するのをお忘れにならないようにご注意ください。

(2)ご送金の回数

日本音楽アカデミーでは、学費の一括送金が原則となっておりますが、特別入会生の方には特に分割納入が認められています。

●一括納入

教材到着後、20日以内に全学費をご送金ください。この場合はステキなプレゼントをさしあげます。

●分割納入

1、第一回目

教材到着後20日以内

2、第二回目〜

前回ご送金の時から一か月ごとにお送りください。

〈学費の請求の行き違い〉 分割納入の方で、すでに学費を送金したにもかかわらず、学費請求の手紙がお手もとに届いた場合は、これは学費と請求書が行き違いになってしまったわけです。現金書留でご送金しますと、だいたい到着するまでに一週間、それに会計課で事務処理をするまでに二日ほど日数がかかります。ですから、納入期限を一週間以上経過した方には、ご送金と入れ違いに学費請求のお便りが届いてしまうことがあります。このような場合は、後にすぐ会計課で、あなたがご送金なさったことがわかりますからどうぞご安心ください。

特約条項

●返品したいときは、教材受取り後7日以内にご返送ください。ただし、返送料はご負担願います。

●ご送金は、教材到着後20日以内にお済ませください。分割払いの場合は、教材到着後20日以内に第1回目をお支払いになり、第2回目以降は、前回お支払い日の1か月後ごとにお支払いください。

●代金を完納するまでは、教材セットの所有権は売主側に留保し、物品の担保差し入れ、または転売などはできませんのであらかじめご承知おきください。

●ご送金は、かならず当音楽アカデミーの指定する送金方法でお支払いください。

●住所・氏名などの変更、または教材の破損、汚損などの事故が発生した時は、その時点より5日以内に学務部宛ご通知ください

正しい通信のしかた

通信教育は、教える側（日本音楽アカデミー）と受講されるあなたがお互いに信頼し合い、手紙のやりとりによって勉強を進めていくのです。

したがって、ここに書かれてあることをよく守っていただくことが、あなたと日本音楽アカデミー通信教育部のお便りの往復をスムーズにすることです。ごく簡単なことですが、必ず守っていただかないと指導が行き届かない結果になり、勉強が予定通りに進まないことになってしまいます。手紙をポストにお入れになる前にこれらの点がきちんと守られているかひとつひとつチェックなさってください。通信教育を楽しく学んでいただくためにも、特にお願いしておきたいことです。

会員番号と会員証明書

◎住所・氏名・郵便番号も忘れずに

日本音楽アカデミーの通信教育部では、会員から毎日寄せられる課題や質問・問い合わせなど、たくさんのお便りを整理するために、すべての会員の学籍簿を会員番号で分類し、コンピュータによって管理しています。

したがって、あなたに少しでも早くご返事をさしあげるためにも、課題提出や質問などのお便りをお出しになる時には、住所・氏名・郵便番号のほかに、あなたの会員番号を忘れずに記入してください。また、住所・氏名にはフリガナを必ず記入して下さい。あなたの会員番号は、お送りした会員証の会員番号欄に記載されていますので手帳などに控えておきましょう。

会員証明書は、日本音楽アカデミーシンセサイザー講座の会員であることを証明するものです。講座修了まで大切に保管してください。

住所・氏名は省略せずに

◎△△方、○○アパート等も忘れずに

お便りをお出しになる時に都道府県名を書かず、○○郡○○町と書く方がいらっしゃいますが、これは誤りのもとになります。必ず○○県○○郡というように、都道府県名を省略せずにお書きください。もしあなたのお住まいが○○方とか○○アパート内というのでしたら、それも必ず記入してください。この肩書きがないため、あて先不明で郵便物が送り返される例が非

常に多いので特にご注意ください。

　また、くずし字や略字なども誤りの大きな原因になります。読みやすく、わかりやすい字ではっきりとお書きになってください。番地は、一、二、三……という漢数字で書くよりも**1**、**2**、**3**……という算用数字の方が誤りがありません。

問い合わせ、課題提出などの宛先について

⊙書簡の内容を封筒に明記すること

　日本音楽アカデミーシンセサイザー講座への通信はその書簡の内容によって宛先が変わってきます。誤った宛先で書簡が届いた場合、担当の部・課で処理されるまでに手間どり、結局はあなたへのご返事（返送）も遅れる結果となってしまいます。封筒の表にはかならず書簡の内容を明記し、正しい宛先（部・課名）を書いて投函されるようお願いいたします。また、かならず私書箱あてにお送りください。

■指導部への通信

〒164
東京都中野局私書箱111号
日本音楽アカデミー シンセサイザー講座・指導部

●指導部宛の連絡の内容

○必須提出課題
○テスト問題の解答
○自由提出課題
○質問用紙（シンセの勉強に関する質問）

　これらのものはすべて指導部宛にお送りください。返信用の切手も忘れずに貼付願います。

■通信教育部への通信

〒164
東京都中野局私書箱111号
日本音楽アカデミー シンセサイザー講座・通信教育部

●通信教育部宛の連絡の内容

○質問用紙（受講規定に関する事務的質問）
○各種変更届（住所・氏名変更届など）
○その他の書簡

　これらのものはすべて通信教育部宛にお送りください。返信用の切手も必ず貼付願います。

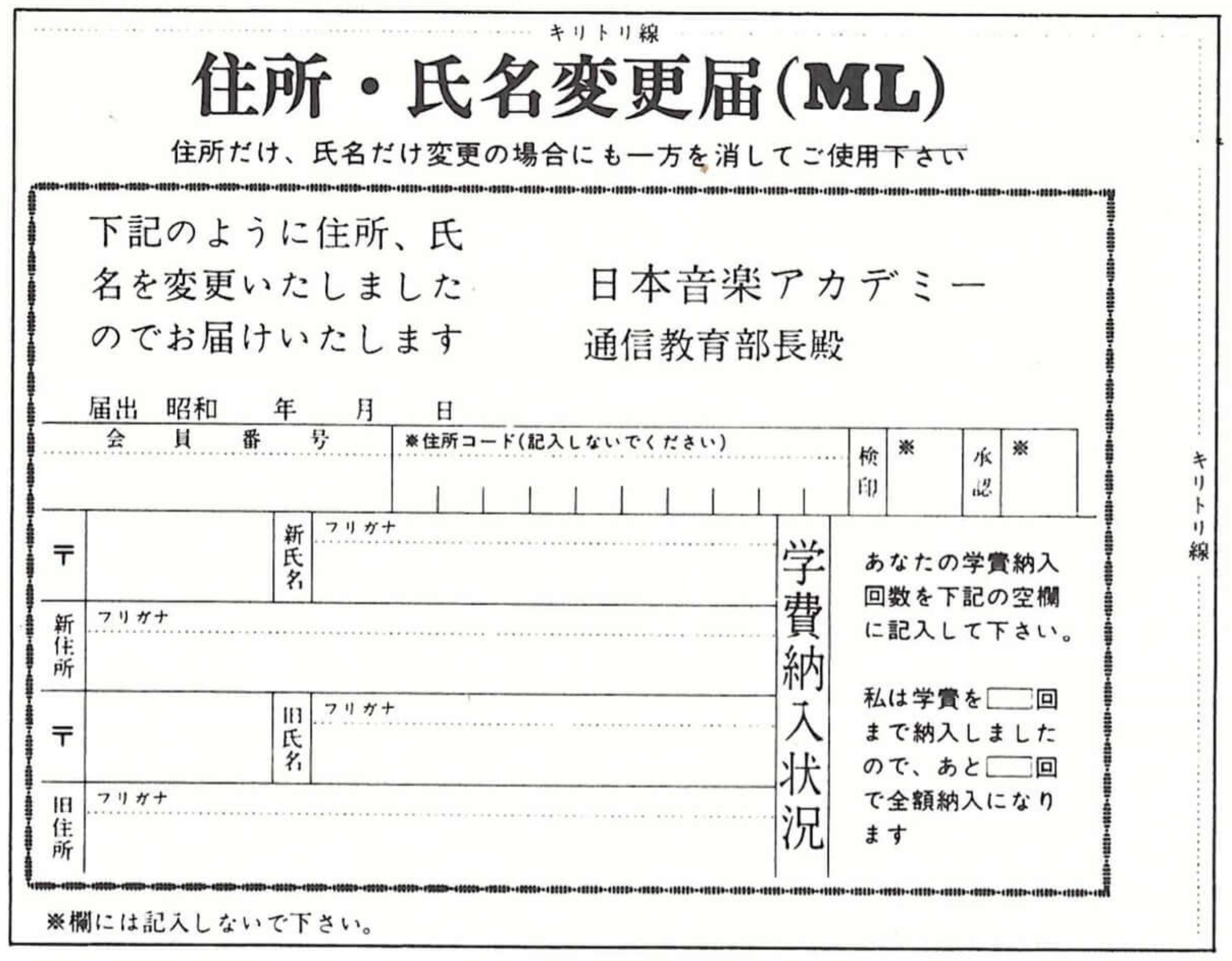
電話連絡について

　お急ぎのお問い合わせの場合は、お電話をご利用になってください。電話の受付時間は左記の通りです。会員番号、氏名などをはっきりと述べ、用件は手短に、簡潔に話してください。また電話による添削指導および添削指導に関するご質問には応じかねますのでご承知おきください。

⊙平　　日　午前9時30分～午後5時
⊙土　曜　日　午前9時30分～午後5時（第2、第4土曜は休み）
⊙日曜・祭日　通信教育部、指導部とも休み
⊙年末・年始　12月29日～1月5日（年により変更する場合があります。）
☎東京（03）318・0111（大代表）
日本音楽アカデミーシンセサイザー講座
通信教育部

住所やお名前が変わった時は

◉変更届をご利用ください



キリトリ線

住所・氏名変更届(ML)

住所だけ、氏名だけ変更の場合にも一方を消してご使用下さい

下記のように住所、氏名を変更いたしましたのでお届けいたします

日本音楽アカデミー
通信教育部長殿

届出　昭和　　年　　月　　日

会員番号	※住所コード(記入しないでください)	検印	※	承認	※

〒		新氏名	フリガナ	学費納入状況	あなたの学賞納入回数を下記の空欄に記入して下さい。 私は学賞を□回まで納入しましたので、あと□回で全額納入になります
新住所	フリガナ				
〒		旧氏名	フリガナ		
旧住所	フリガナ				

キリトリ線

※欄には記入しないで下さい。

住所やお名前が変わったときは、すぐにご連絡ください。連絡が遅れると、郵便番号や住所が不正確のため、いろいろな郵便物を正しくあなたのお手もとへお届けできなくなります。ガイドブックの巻末にある〝住所・氏名変更届〟をご利用になって速（すみや）かにご連絡ください。

その他、受講期間延長届用紙、会員証再発行願もついていますから、このようなときにはできる限り早く、これらの指定届出用紙を使ってご連絡ください。必要な事項はもちろんですが、特に会員番号は忘れずにご記入ください。また、届出用紙がなくなった場合は、官製ハガキをご利用になり、必要事項を記入のうえご連絡ください。

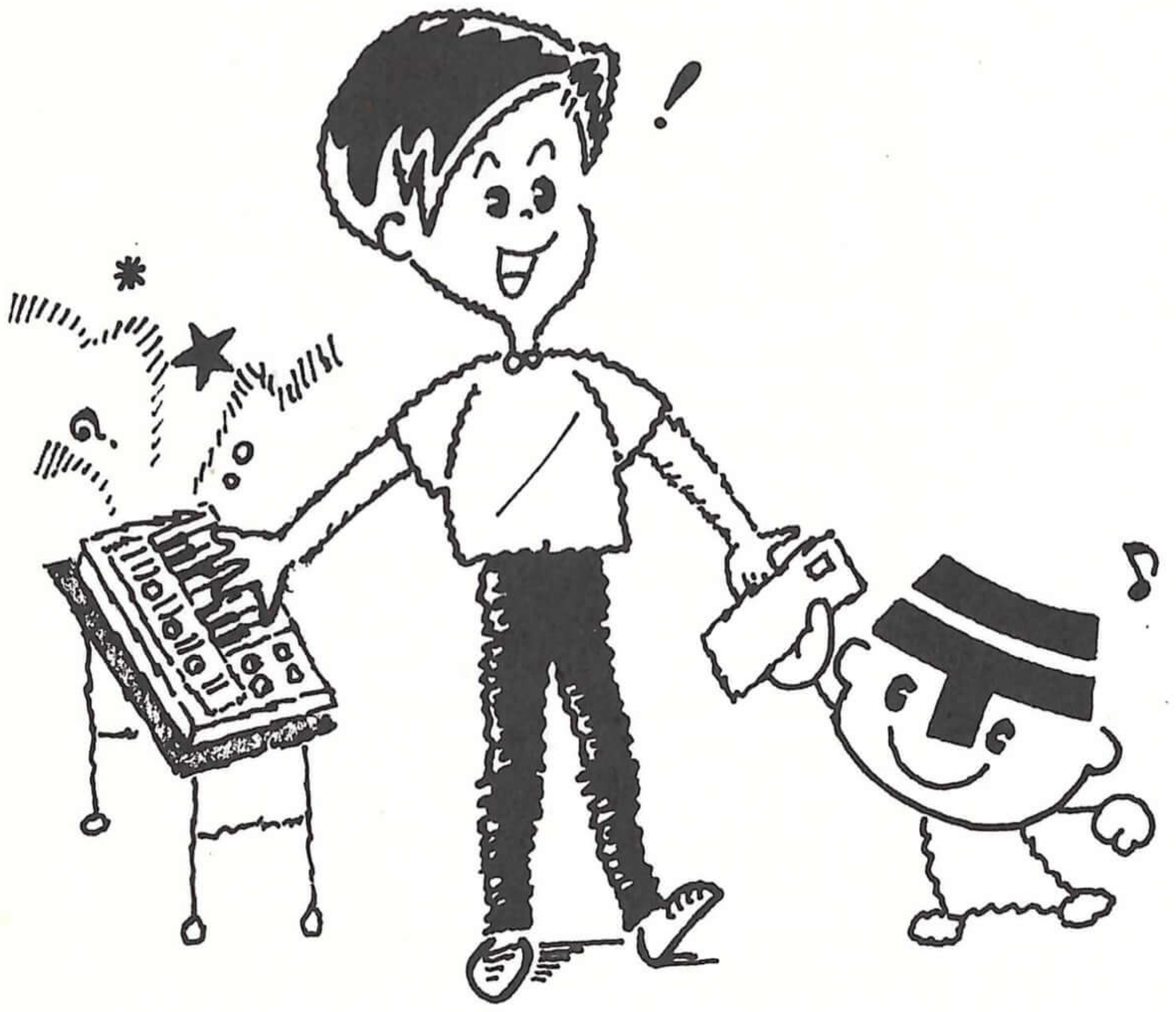
郵便物が届くまでの日数

◉20～30日お待ちください

提出課題や質問用紙などの郵便物はだいたい1週間くらいかかります。特に、添削指導を受けるような提出物は、担当の先生がくわしい添削・講評をしますので10日くらいの時間がかかる場合があります。したがって郵便物の往復にはその倍くらいの日数がかかります。

よく、提出した課題の返送はまだか、とさいそくのお手紙をいただきますが、さいそくのお便りが通信教育部に着くのと、当アカデミーからの返送が行き違いになることが多いのです。ですから、このくらいの日数がかかるとお考えになり、安心してお便りをお待ちになってください。

万一、返送予定（20～30日間）の期間を過ぎても、お手もとに届かない場合には、投函日（とうかんび）、会員番号、住所、氏名、未・不着物名をはっきりと記入してご連絡ください。すぐに係で調べてご返事いたします。



質問百科

会員の方から、多く寄せられるご質問を集めてみました。あなたに疑問点が起きたら、まずこのページをお読み下さい。

問　12か月の受講期間のうちに、テキストを全部習えられそうもなく心配です。勉強期間（在籍期間）を延長してもらえますか。

答　本講座はあなたが12か月でムリなく修了できるように講座内容が組まれていますが、病気なさった時や、やむを得ない事情があった場合は、一年間、在籍期間を延長することができます。その場合でも、余分な学費はいりませんから安心してお勉強をお続けになってください。ただし、受講期間を延長する時は「受講期間延長届」を忘れずに提出してください。

問　テキストに出題されているシンセサウンドの課題は、必ず受講期間中に提出しなければいけないのでしょうか。

答　必ず提出してください。定められた必須課題を提出しなければ、12か月の受講期間修了後も修了証は授与されません。提出する時は指定のカセットテープを使用してください。

問　市販の未使用のカセットテープを持っているので、それに課題を録音して添削指導をお願いしたいのですが。

答　当アカデミーが指定したカセットテープ以外のテープでの課題提出は原則として認めておりません。教材と一緒にお届けした、指定の課題提出用カセットテープ（C―15）で十分に添削指導ができるようになっていますし、会員の皆様すべてが同じ教材で勉強していただく意味からも、指定された課題提出用テープに吹き込んで送ってください。

問　自由提出課題についてですが、指定のカセットテープC―15・A面だけでは録音しきれなくなってしまいました。市販の録音時間の長いテープで提出してはいけませんか。

答　原則として、必ず指定の課題提出用カセットテープを使用するよう規定してありますが、どうしても自由課題の録音時間が指定のテープに収まり切れない場合に限り、自由課題が収まる最少限の録音時間のテープ（C―30、C―46など）に吹き込むことを認めます。しかし、できるだけ指定のテープに収まるよう、シンセサウンドをつくって提出してください。

問 **質問用紙を全部使ってしまいました。普通の用紙を使って質問を送ってもかまいませんか。**

答 けっこうです。ただし、あなたの会員番号、住所・氏名を、質問を書いた用紙に必ず書き、返信用切手も忘れずに貼付してください。また、書き損じて質問用紙が足りなくなってしまう方がいますので、書く前に下書きをしてから要領よくはっきりと書いてください。

問 **修了証は、課題提出がすべて終わったらすぐにいただけるのでしょうか。**

答 受講期間の12か月が終わらないと修了証は授与されません。普通の学校と同じように、定められた在籍期間が必要です。規定の課題提出を完了し、受講期間が終了して初めて修了証を申請する資格が与えられます。申請方法はすでにお届けしてあるシール台紙に検印済みのシールを貼り申請書といっしょにお送りください。

　指導部で資格審査をおこない、実力ありと認められた方に修了証が授与される場合は、申請書を提出してから、約一か月かかります。

問 **これからシンセサイザー講座を受講しようと思っていますが、学費の内訳はどういう内容になっているのでしょうか。**

答 通信教育の学費は、当講座に限らず、すべて会員が入会してから修了するまでに必要な経費から成りたっています。

　この中には、提出された課題などの講評・添削や、技術上の質問に対するお答えや成績を判定するために必要な経費をはじめとして、テキストを編集し印刷し、そして郵送する費用などが含まれています。むろん、あなたが入会されれば学籍簿が作成され、お勉強の進度が記録されるわけですから、これに必要な経費もはいっています。

　通信教育の学費は、本屋さんでシンセに関する本を買ったり、参考書を買ったりする場合の代金とは根本的に違います。ですから、入会した以上は積極的に指導を受けて技術を身につけなければ、せっかく納入した学費がムダになってしまいます。この点は、学校の授業料プラス教材費とお考えになればよいでしょう。

問 **学費の送金方法は、送っていただいた現金書留の封筒を使わなくてはいけませんか。普通郵便の書留や、電信為替、銀行振込みによる送金ではいけないのでしょうか。**

答 ぜひ、お送りした現金書留の封筒でご送金ください。電信為替や銀行振込による送金ですと、会員番号、何回目の送金であるかが不明になり、事務手続きがたいへん遅れてご心配をおかけすることになります。お送りした現金封筒ならこの心配がなく安心です。

　また、普通郵便の書留で現金を送ることは郵便法で禁じられて罰金を取られます。どうしても現金封筒が使えない場合は当会にお申し出ください。それぞれの場合に応じた方法をご連絡いたします。

住所や氏名が変わった方は

——左の届出用紙を提出してください

●記入の前にお読み下さい

　あなたが転居されたときや、住居表示が変わったとき、また、ご結婚などによって住所や氏名が変わったときには、この住所・氏名変更届を提出して下さい。ご住所のみが変わった場合には、届出用紙の氏名の文字を消せば住所変更届として、また、お名前のみが変わった場合には、住所の文字を消せば氏名変更届として、それぞれご使用になれます。

　なお、届出用紙の必要欄には、あなたのお名前、新旧のご住所、会員番号を記入し、さらに、あなたの学費納入状況もお知らせ下さい。たとえば、あなたが3回目までの学費を納入されている場合には、学費納入状況欄の最初の空欄に3を記入し、次の空欄には残りの回数を記入して下さい。

　正しい住所や氏名をお知らせいただくことは、あなたと当会との事務連絡や指導をスムーズに進める第一歩となるものですので、変更されたときには早急に届出用紙を提出して下さい。

キリトリ線

住所・氏名変更届（ML）

住所だけ、氏名だけ変更の場合にも一方を消してご使用下さい

下記のように住所、氏名を変更いたしましたのでお届けいたします

日本音楽アカデミー
通信教育部長殿

届出　昭和　　年　　月　　日

会員番号	※住所コード（記入しないでください）	検印 ※	承認 ※

〒		新氏名	フリガナ
新住所	フリガナ		
〒		旧氏名	フリガナ
旧住所	フリガナ		

学費納入状況

あなたの学費納入回数を下記の空欄に記入して下さい。

私は学費を□回まで納入しましたので、あと□回で全額納入になります。

※欄には記入しないで下さい。

キリトリ線

受講期間の延長を希望される方は

——左の届出用紙を提出してください

●記入の前にお読み下さい

受講期間延長届は、お仕事が忙（いそが）しくなられた方やご病気になられた方が、やむをえず受講期間を延長されたいときに提出していただくものです。

延長を希望される方は、届出用紙の必要欄に、お名前、ご住所、会員番号、延長したい期間とその理由をご記入下さい。また、会員カードを整理する都合（つごう）上、あなたの学費（がくひ）納入（のうにゅう）状況（じょうきょう）もあわせてお知らせ下さい。届出用紙の学費納入状況欄に、あなたの学費納入回数と残りの納入回数を記入して下さい。

受講期間は届提出日から数えて最長1年まで延長することができます。なお、受講期間を延長された場合でも、指導は受けられ、よけいな学費もかかりませんが、学費の納入期間は変わりませんので、この点をあらかじめご承知おき下さい。

キリトリ線

受講期間延長届（ML）

この延長届は規定の受講期間が過ぎる前に提出して下さい

下記のように受講期間を延長したく思いますのでお届けいたします

日本音楽アカデミー
通信教育部長殿

届出　昭和　　年　　月　　日

検印	※	承認	※

住所	フリガナ		
〒			
氏名	フリガナ	会員番号	
期間			
理由			

学費納入状況

あなたの学費納入回数を下記の空欄に記入して下さい。

私は学費を□回まで納入しましたので、あと□回で全額納入になります。

※欄には記入しないで下さい

キリトリ線

会員証を紛失（ふんしつ）された方は

——左の再発行願いを提出してください

●記入の前にお読み下さい

教材と一緒にお届けした会員証は、あなたが日本音楽アカデミーシンセサイザー講座の会員であることを証明する大切なカードです。したがって、本講座を修了するまで大切に保管しておかなければいけません。

万一、会員証を紛失（ふんしつ）した場合は、ただちにこの会員証再発行願いを提出してください。再発行願いの必要欄には、あなたのお名前、ご住所、会員番号を記入し、さらにあなたの学費納入状況もお知らせ下さい。会員番号は、当会からお送りする現金封筒や振替（ふりかえ）用紙のあなたのお名前の下に書かれてある数字です。もし、会員番号がわからない時は、あなたがシンセサイザー講座へ入会された年月日（年月だけでもよい）を記入欄にお書きになって下さい。再発行願いが到着しだい、早急（そうきゅう）にあなたの会員証明書をお送りいたします。

キリトリ線

会員証再発行願（ML）

会員番号がわからない時は、入会年月日を記入して下さい

会員証を再発行していただきたくお願いします

日本音楽アカデミー
通信教育部長殿

届出　昭和　　年　　月　　日

検印	※	承認	※

住所 〒	フリガナ	学費納入状況
氏名	フリガナ	あなたの学費納入回数を下記の空欄に記入して下さい。 私は学費を□回まで納入しましたので、あと□回で全額納入になります。
会員番号		
入会年月日	昭和　　年　　月　　日入会	

※欄には記入しないで下さい。

キリトリ線

質問用紙(ML)

住所	(郵便番号〒　　　　　)				TEL　市外局番(　　　　　) (　　　　)−(　　　　　)
氏名	フリガナ	年令	才	会員番号	

(質　問—わかりやすく、はっきりとお書き下さい。)

(お答え)

返信用
切　手
(一部をかるく
ノリづけする)

きりとり線

SYNTHESIZER ガイドブック

シンセサイザー講座

日本音楽アカデミー